

結核年報2014 (3) 患者発見・診断時病状

結核研究所疫学情報センター

キーワード：結核，発見の遅れ，菌陽性，空洞，合併症，抗結核薬剤感受性検査

はじめに

2014年に新たに登録された結核患者の発見方法や発見までの遅れなどの結核患者発見に関連した状況について、結核登録者情報システムの情報に基づいて概観する。結核診断時の患者の病状，特に新登録肺結核患者中胸部X線写真学会分類別所見割合・合併症の有無・薬剤感受性検査状況についても同情報から概観する。

患者発見

(1) 新登録結核患者の発見方法 (表1)

2007年から2014年までに新規に登録された結核患者の発見方法別患者数・割合の推移，および2014年については10歳刻み年齢別に表1に示した。「医療機関」は、「有症状受診」「他疾患入院中」「通院中」に分けて集計している。なお，後者の2つは，他疾患入院中・通院中の有症状による発見および健診による発見が含まれる。

2014年に新規に登録された結核患者19,615人のうち，82.8%が医療機関において発見されていた。内訳をみると，結核が疑われる有症状受診による患者発見は58.3%で，他疾患入院中もしくは他疾患通院中を含む医療機関外来受診中の両者を合わせると24.5%となっている。2014年の年齢階層別の発見方法をみると，医療機関による発見割合は年齢とともに上昇し，60歳以降ではその8割以上が医療機関での発見であった。20～59歳の年齢層では，医療機関を通じて有症状受診での発見が5～6割で，職場定期健診が2割程度を占めていた。10代の約3割は学校定期健診による発見であった。接触者健診での発見は全体の約3%であるが，若年層における結核患者においてより高い割合となっていた。

(2) 新登録肺結核患者の発見時症状 (図1)

新登録肺結核患者15,149人のうち，約4人に3人(11,189人)は発見時に何らかの症状を認めていた。呼吸器症状のみあった者が25.5%，呼吸器症状とその他の症状があった者が30.4%，呼吸器症状以外の症状のみの者が18.0%，症状のなかった者が25.5%であった。発見時に少なくとも呼吸器症状があった者の割合は55.9%であり，年齢階層別でみると，40歳以上の全ての年齢層において5割を上回っていた。呼吸器症状がなく，その他の症状のみを有する肺結核患者は80歳以上の世代では2割以上となっていた。一方，症状のなかった者の割合は，若年者において大きかった。

(3) 有症状新登録肺結核患者における発見の遅れ (図2)

新登録肺結核患者のうちの有症状者11,189人と，そのうち喀痰塗抹陽性肺結核のうちの有症状者6,857人について，発見の遅れの年齢階層別割合を示した(遅れの期間が不明の者を除く)。発見の遅れの指標値は，症状出現時から初診時までの期間を表す「受診の遅れ」が2カ月以上の割合，初診時から診断時までの期間を表す「診断の遅れ」が1カ月以上の割合，症状出現時から診断時までの期間を表す「発見の遅れ」が3カ月以上の割合で表した。

有症状肺結核患者の「受診の遅れ」は，65歳以下の年齢層でおおよそ20%を超え高い値を示していた。これに対して「診断の遅れ」は，65歳以上で「受診の遅れ」の割合を上回っていた。「発見の遅れ」は，「受診の遅れ」と非常に類似した傾向を示した。

有症状喀痰塗抹陽性に限ると，有症状肺結核に比べて全年齢を通じて「受診の遅れ」は高く，「診断の遅れ」は

表1 新登録結核患者の発見方法, 2007~2014年
Table 1 Proportion of mode of detection among newly notified tuberculosis patients, 2007-2014

年 Year	新登録患者 Newly notified TB patients	個別 健診 Individual medical checkup				定期健診 Mass screening				接触者健診 Contact examination				医療機関 Medical institutions				その他 Others		不明 Unknown					
		n	%	n	%	住民 Residents	職場 Employees	施設 Facilities	家族 Family	その他 Others	有症状受診(*1) Outpatients with TB symptoms (*1)	他疾患入院中 Inpatients with other diseases	通院中 Outpatients with other diseases	n	%	n	%	n	%	n	%				
2007	25,311	537	(2.1)	217	(0.9)	636	(2.5)	1,931	(7.6)	145	(0.6)	355	(1.4)	370	(1.5)	16,997	(67.2)	2,031	(8.0)	1,611	(6.4)	340	(1.3)	141	(0.6)
2008	24,760	639	(2.6)	195	(0.8)	486	(2.0)	1,877	(7.6)	144	(0.6)	325	(1.3)	410	(1.7)	15,347	(62.0)	2,681	(10.8)	2,100	(8.5)	316	(1.3)	240	(1.0)
2009	24,170	611	(2.5)	197	(0.8)	550	(2.3)	1,749	(7.2)	136	(0.6)	324	(1.3)	311	(1.3)	14,864	(61.5)	2,752	(11.4)	2,220	(9.2)	301	(1.2)	155	(0.6)
2010	23,261	507	(2.2)	244	(1.0)	544	(2.3)	1,618	(7.0)	128	(0.6)	313	(1.3)	350	(1.5)	13,901	(59.8)	2,792	(12.0)	2,305	(9.9)	333	(1.4)	226	(1.0)
2011	22,681	470	(2.1)	188	(0.8)	497	(2.2)	1,531	(6.8)	126	(0.6)	354	(1.6)	482	(2.1)	13,177	(58.1)	2,916	(12.9)	2,515	(11.1)	330	(1.5)	95	(0.4)
2012	21,283	409	(1.9)	163	(0.8)	498	(2.3)	1,424	(6.7)	121	(0.6)	315	(1.5)	374	(1.8)	12,284	(57.7)	2,941	(13.8)	2,312	(10.9)	357	(1.7)	85	(0.4)
2013	20,495	413	(2.0)	172	(0.8)	455	(2.2)	1,246	(6.1)	89	(0.4)	314	(1.5)	333	(1.6)	11,978	(58.4)	2,745	(13.4)	2,306	(11.3)	336	(1.6)	108	(0.5)
2014	19,615	344	(1.8)	201	(1.0)	404	(2.1)	1,221	(6.2)	92	(0.5)	303	(1.5)	333	(1.7)	11,441	(58.3)	2,591	(13.2)	2,210	(11.3)	328	(1.7)	147	(0.7)
2014年																									
年齢階層 Age group																									
0-9	32	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	17	(53.1)	0	(0.0)	13	(40.6)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(3.1)	1	(3.1)
10-19	185	4	(2.2)	54	(29.2)	0	(0.0)	3	(1.6)	0	(0.0)	31	(16.8)	10	(5.4)	68	(36.8)	1	(0.5)	0	(0.0)	11	(5.9)	3	(1.6)
20-29	1,188	24	(2.0)	131	(11.0)	4	(0.3)	247	(20.8)	6	(0.5)	29	(2.4)	58	(4.9)	602	(50.7)	16	(1.3)	15	(1.3)	50	(4.2)	6	(0.5)
30-39	1,235	24	(1.9)	11	(0.9)	3	(0.2)	281	(22.8)	4	(0.3)	39	(3.2)	55	(4.5)	695	(56.3)	34	(2.8)	56	(4.5)	23	(1.9)	10	(0.8)
40-49	1,440	44	(3.1)	3	(0.2)	28	(1.9)	292	(20.3)	6	(0.4)	42	(2.9)	57	(4.0)	799	(55.5)	51	(3.5)	76	(5.3)	26	(1.8)	16	(1.1)
50-59	1,514	52	(3.4)	0	(0.0)	32	(2.1)	223	(14.7)	8	(0.5)	35	(2.3)	54	(3.6)	865	(57.1)	84	(5.5)	110	(7.3)	37	(2.4)	14	(0.9)
60-69	2,597	62	(2.4)	1	(0.0)	74	(2.8)	146	(5.6)	9	(0.3)	39	(1.5)	42	(1.6)	1,499	(57.7)	257	(9.9)	393	(15.1)	51	(2.0)	24	(0.9)
70-79	4,028	62	(1.5)	0	(0.0)	149	(3.7)	25	(0.6)	15	(0.4)	37	(0.9)	30	(0.7)	2,336	(58.0)	615	(15.3)	672	(16.7)	58	(1.4)	29	(0.7)
80-89	5,753	56	(1.0)	1	(0.0)	98	(1.7)	4	(0.1)	29	(0.5)	31	(0.5)	19	(0.3)	3,542	(61.6)	1,135	(19.7)	747	(13.0)	63	(1.1)	28	(0.5)
90-	1,643	16	(1.0)	0	(0.0)	16	(1.0)	0	(0.0)	15	(0.9)	3	(0.2)	8	(0.5)	1,022	(62.2)	398	(24.2)	141	(8.6)	8	(0.5)	16	(1.0)

TB: tuberculosis

*1 有症状: 咳, 痰, 血痰, 咯血等の「呼吸器症状」や, 喘鳴, 胸痛, 背部痛, 息切れ, 発熱, 寝汗, 全身倦怠, 体重減少等の「その他の症状」を有する場合。
TB symptoms: Respiratory symptoms such as cough, sputum expectoration, bloody sputum, and hemoptysis; and other symptoms such as wheezing, chest pain, back pain, dyspnea, fever, night sweating, fatigue tendency, and weight loss.

低い値となった。特に、35～59歳で受診の遅れが35%以上であり、他の年齢層に比べて高い割合となっていた。15歳以下で受診の遅れが高値となったのは、実数が少ないことによる変動のためと考えられる。「診断の遅れ」は全年齢層で15%前後となっていた。

診断時病状

(1) 新登録肺結核患者中の胸部X線写真学会分類別所見割合 (図3)

2014年に新規に登録された肺結核患者のうち、胸部X線写真学会分類別所見の割合を男女別5歳刻みで示した(図3)。空洞型 (IおよびII型) の割合は、男性では、年齢とともに割合が増加し、60～64歳において49.9%と最も高い値となり、65歳以降は割合が低下していた。一方、女性では、全年齢を通じて25%前後を推移していた。広汎空洞型 (I型) の割合は、1975年の1.5%から1985年頃までは多少の上昇がみられたが、それ以降2%前後で推移し、2014年は2.0%であった(ウェブサイトで公開の旧図「新登録肺結核患者中胸部X線写真での広汎空洞型割合の推移、1975～2014年」を参照のこと)。

(2) HIV感染合併結核の性・年齢分布 (表2)

新登録結核患者で「HIV感染合併あり」と報告された者について、2014年および2007～2014年の8年間の状

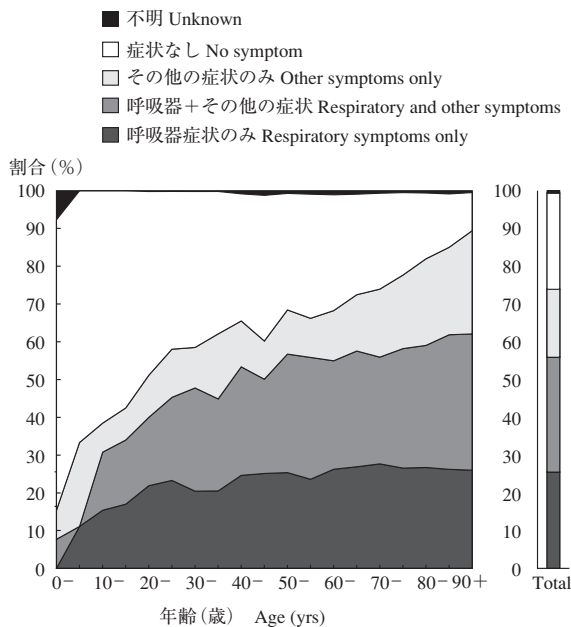


図1 新登録肺結核中年齢5歳階層別症状の有無, 2014年
Fig. 1 Proportion of symptoms among newly notified pulmonary tuberculosis patients by 5-year age group, in 2014

呼吸器症状は咳、痰、血痰、喀血を含む。その他の症状は喘鳴、胸痛、背部痛、息切れ、発熱、寝汗、全身倦怠、体重減少を含む。
Respiratory symptoms include cough, sputum expectoration, bloody sputum, and hemoptysis. Other symptoms include wheezing, chest pain, back pain, dyspnea, fever, night sweating, fatigue tendency, and weight loss.

況を表2に示した。

2014年新登録結核患者で「HIV合併あり」と報告された患者数は45人で、女性が6人(13.3%)、外国人は10人(22.2%)であった。一方で、HIV検査未実施(4,970人)と不明(12,973人)が大多数を占めていた。

HIV感染合併結核患者の数は、2007～2014年の8年分をあわせると461人となる。男女別にみると、男性398人(86.3%)に対して女性は63人(13.7%)と男性が多かった。外国人は96人(20.8%)であった。女性では外国人割合は半数以上を占め(36人, 57.1%)、逆に、男性では日本人が大多数(338人, 84.9%)を占めていた。年齢分布では、30～54歳で312人(67.7%)と中年層にまよっていた。日本人と外国人の年齢分布傾向には違いがみられ、前者は幅広い年齢層に分布していた一方で、外国人はより若年者に偏っていた。

(3) 糖尿病合併結核の性・年齢分布 (図4)

現在の結核登録者情報システムは、登録者における糖尿病合併の有無について「1.あり」「2.なし」「3.不

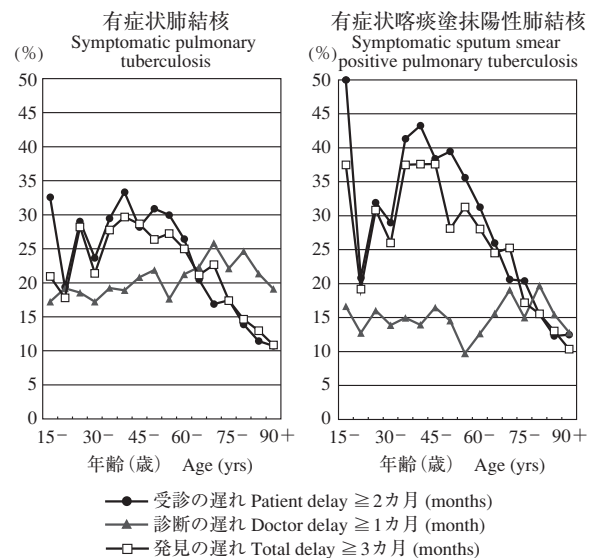


図2 新登録有症状肺結核中年齢5歳階層別発見の遅れの割合, 2014年
Fig. 2 Proportion of patient delay, doctor delay and total delay among symptomatic pulmonary tuberculosis patients by 5-year age group, in 2014

受診の遅れ: 「発病の時期」(結核の症状が初めて自覚された時期)から「初診の時期」(結核による症状を訴えて初めて医療機関を受診した時期)までの期間が2カ月以上である場合。

Patient delay: time interval from the onset of symptoms to the first visit to a medical institution is 2 months or longer.

診断の遅れ: 「初診の時期」から「診断の時期」(結核と診断された時期)までの期間が1カ月以上である場合。

Doctor delay: time interval from the first visit to a medical institution to the diagnosis of tuberculosis is 1 month or longer.

発見の遅れ: 「発病の時期」から「診断の時期」までの期間が3カ月以上である場合。

Total delay: time interval from the onset of symptoms to the diagnosis of tuberculosis is 3 months or longer.

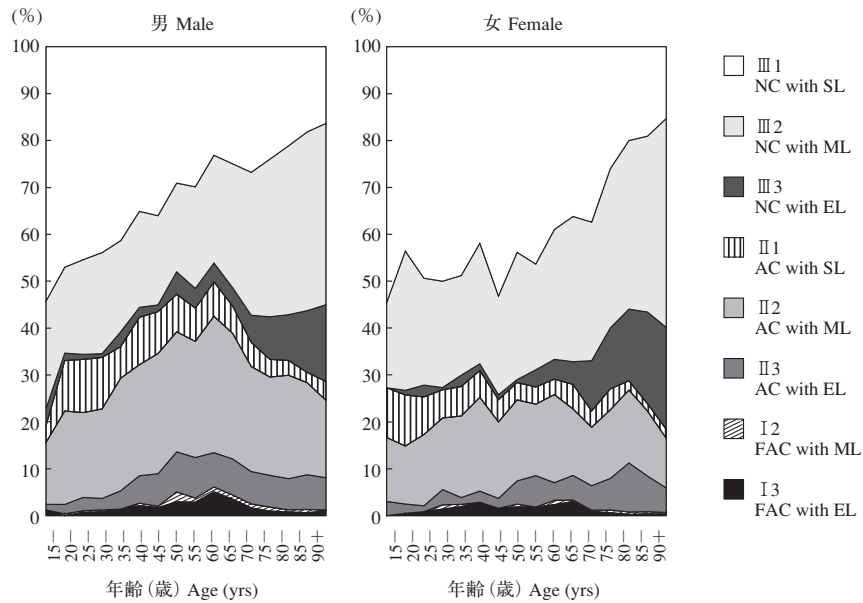


図3 新登録肺結核患者中胸部 X線写真学会分類別所見割合，性・年齢 5 歳階級別，2014 年

Fig. 3 Proportion of cases classified by X-ray classification by sex and 5-year age group, 2014

NC: Non-cavitary AC: Advanced cavitory FAC: Far-advanced cavitory
 SL: Slight lesion ML: Moderate lesion EL: Extensive lesion

表 2 新登録結核患者中「HIV 合併あり」と報告された患者数，性・年齢階層別，2014 年および 2007～2014 年
 Table 2 Number of newly notified tuberculosis patients with HIV infection, by sex and age group, 2014 and 2007-2014

年齢階層 Age group	喀痰塗抹陽性 Sputum smear positive		他結核菌陽性 Other bacteriologically- positive		菌陰性結核 Bacteriologically- negative		肺外結核 Extra-pulmonary		総数 Total		
	男 M	女 F	男 M	女 F	男 M	女 F	男 M	女 F	男 M	女 F	
2014 年 2014 Calendar year											
総計 Total	11	2	11 (3)	0	1	2 (2)	16 (4)	2 (1)	39 (7)	6 (3)	
0-19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
20-24	1	0	1 (1)	0	0	0	0	0	2 (1)	0	
25-29	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	
30-34	1	0	3 (1)	0	1	0	1	0	6 (1)	0	
35-39	1	0	1	0	0	2 (2)	3 (2)	1 (1)	5 (2)	3 (3)	
40-44	0	1	3 (1)	0	0	0	3 (1)	0	6 (2)	1	
45-49	1	0	2	0	0	0	3 (1)	1	6 (1)	1	
50-54	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	
55-59	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	
60-64	1	0	0	0	0	0	2	0	3	0	
65-69	1	0	1	0	0	0	1	0	3	0	
70-74	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
75-79	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
80+	2	1	0	0	0	0	0	0	2	1	
2007～2014 年 2007-2014 Calendar year											
総計 Total	134 (12)	23 (13)	75 (16)	9 (6)	36 (4)	7 (5)	153 (28)	24 (12)	398 (60)	63 (36)	
0-19	1 (1)	0	0	0	0	0	2	0	3 (1)	0	
20-24	4 (2)	0	2 (1)	0	1 (1)	1 (1)	1	1	8 (4)	2 (1)	
25-29	8 (3)	3 (2)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0	9 (1)	1 (1)	19 (6)	5 (4)	
30-34	11 (3)	4 (4)	9 (1)	3 (2)	2	1 (1)	20 (7)	4 (2)	42 (11)	12 (9)	
35-39	19 (1)	3 (3)	15 (4)	2 (2)	5	2 (2)	24 (5)	4 (3)	63 (10)	11 (10)	
40-44	25 (1)	4 (3)	15 (5)	0	6 (1)	3 (1)	35 (11)	5 (4)	81 (18)	12 (8)	
45-49	13 (1)	1 (1)	9 (3)	1 (1)	4 (1)	0	29 (4)	2	55 (9)	4 (2)	
50-54	10	0	10 (1)	0	5	0	7	0	32 (1)	0	
55-59	8	0	3	0	4	0	9	2 (2)	24	2 (2)	
60-64	11	1	5	0	3	0	6	0	25	1	
65-69	10	0	3	0	3	0	5	1	21	1	
70-74	2	2	1	0	1	0	2	1	6	3	
75-79	4	0	0	0	1	0	3	2	8	2	
80+	8	5	2	2	0	0	1	1	11	8	

() : 外国人患者の再掲 Re-count of foreigners

HIV: Human Immunodeficiency Virus. M: male patients, F: female patients.

明」の3区分で入力するよう求めている。糖尿病合併の有無については、主治医の記録や現在の糖尿病の治療状況から判断して、保健所が情報の入力を行っている。図4に、2014年の新登録結核患者19,615人（男12,005人、女7,610人）について、性別、年齢5歳階層別に糖尿病合併「あり」の割合（分母には糖尿病の有無「不明」を含む）を示した。「糖尿病合併あり」は全体で2,753人（14.0%）、男性が1,953人（16.3%）、女性が800人（10.5%）であった。割合の最大値をみると、男性は65～69歳（23.6%）、女性は75～79歳（19.6%）が最も高い値となった。全年齢階層で男性における糖尿病合併率が高いが、75歳以降男女差が小さくなる傾向がある。

（4）結核菌培養・抗結核薬剤感受性検査結果（表3、図5）

表3に、2012～2014年に新規に登録された肺結核患者の診断時（治療開始時）菌検査状況、薬剤感受性検査状

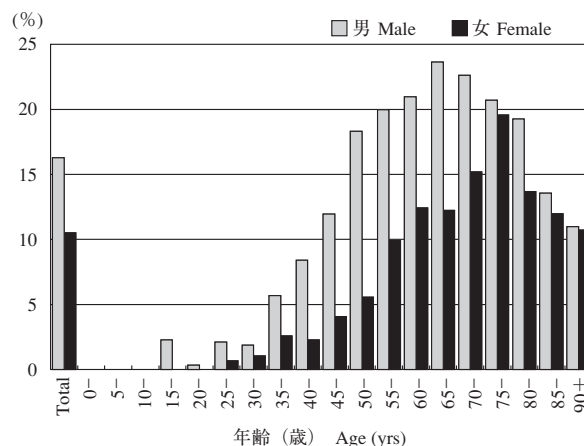


図4 新登録結核患者中「糖尿病合併あり」と報告された患者の割合、性・年齢階層別、2014年
Fig. 4 Proportion of newly notified tuberculosis patients with diabetes mellitus in each age-group by sex, 2014

表3 新登録肺結核患者から分離培養された結核菌の抗結核薬剤感受性検査結果、治療歴別、2012～2014年
Table 3 Drug susceptibility test results among newly notified pulmonary tuberculosis patients, by treatment history, 2012-2014

治療歴, 菌検査状況, 耐性状況 Treatment history, Culture examination results, Drug susceptibility test results	2012				2013				2014			
	n	%	%	%	n	%	%	%	n	%	%	%
総数 Total												
肺結核 Pulmonary tuberculosis	16,432	100			15,972	100			15,149	100		
培養結果把握 Culture result obtained	14,058	85.6			13,311	83.3			12,909	85.2		
培養陽性 Culture positive	11,261	68.5	100		10,523	65.9	100		10,259	67.7	100	
感受性結果把握 DST result obtained	8,347		74.1	100	7,701		73.2	100	7,645		74.5	100
多剤耐性 MDR	60			0.7	47			0.6	56			0.7
INH耐性 Any INH resistance	380			4.6	369			4.8	349			4.6
RFP耐性 Any RFP resistance	73			0.9	64			0.8	76			1.0
1剤以上耐性 Any resistance*	810			9.7	757			9.8	749			9.8
初回治療 New treatment												
肺結核 Pulmonary tuberculosis	15,040	100			14,727	100			13,956	100		
培養結果把握 Culture result obtained	12,882	85.7			12,279	83.4			11,897	85.2		
培養陽性 Culture positive	10,379	69.0	100		9,782	66.4	100		9,523	68.2	100	
感受性結果把握 DST result obtained	7,676		74.0	100	7,166		73.3	100	7,104		74.6	100
多剤耐性 MDR	38			0.5	31			0.4	40			0.6
INH耐性 Any INH resistance	310			4.0	326			4.5	288			4.1
RFP耐性 Any RFP resistance	46			0.6	42			0.6	58			0.8
1剤以上耐性 Any resistance*	712			9.3	680			9.5	664			9.3
再治療 Re-treatment												
肺結核 Pulmonary tuberculosis	1,094	100			1,013	100			968	100		
培養結果把握 Culture result obtained	959	87.7			852	84.1			848	87.6		
培養陽性 Culture positive	693	63.3	100		586	57.8	100		591	61.1	100	
感受性結果把握 DST result obtained	555		80.1	100	435		74.2	100	449		76.0	100
多剤耐性 MDR	22			4.0	16			3.7	15			3.3
INH耐性 Any INH resistance	67			12.1	35			8.0	57			12.7
RFP耐性 Any RFP resistance	26			4.7	22			5.1	17			3.8
1剤以上耐性 Any resistance*	94			16.9	65			14.9	79			17.6
治療歴不明 No information about treatment history												
肺結核 Pulmonary tuberculosis	298	100			232	100			225	100		
培養結果把握 Culture result obtained	217	72.8			180	77.6			164	72.9		
培養陽性 Culture positive	189	63.4	100		155	66.8	100		145	64.4	100	
感受性結果把握 DST result obtained	116		61.4	100	100		64.5	100	92		63.4	100
多剤耐性 MDR	0			0.0	0			0.0	1			1.1
INH耐性 Any INH resistance	3			2.6	8			8.0	4			4.3
RFP耐性 Any RFP resistance	1			0.9	0			0.0	1			1.1
1剤以上耐性 Any resistance*	4			3.4	12			12.0	6			6.5

DST: Drug susceptibility test MDR: Multi-drug resistant, i.e., resistant to at least INH and RFP

INH: isoniazid RFP: rifampicin

感受性結果は重複あり Cases having drug resistance are counted independently by drug.

*: INH, RFP, SM, EBの4剤のうちのいずれかに耐性 Resistant to either INH, RFP, SM, or EB

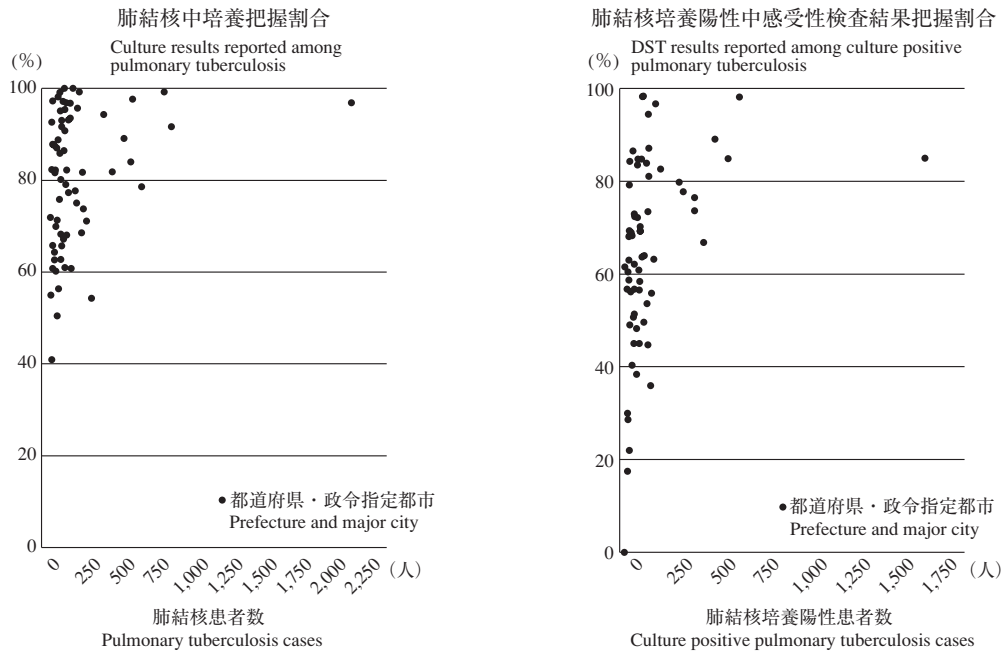


図5 新登録肺結核患者数とそのうち培養把握割合の散布図（左），および新登録肺結核培養陽性患者数とそのうち感受性検査結果把握割合の散布図（右），都道府県・政令指定都市別，2014年

Fig. 5 Scatter plot of culture results reported among pulmonary tuberculosis patients and anti-tuberculosis drug susceptibility test results among newly notified pulmonary tuberculosis patients, by prefecture and major city, 2014

況とその検査結果について，保健所が情報を把握して結核登録者情報システムに入力した内容を，治療歴別に示す〔表中の「1剤以上耐性」には，イソニアジド（INH），リファンピシン（RFP），ストレプトマイシン（SM），エタンブトール（EB）のうち1剤以上に耐性とされたものが含まれる〕。

2014年における新登録肺結核患者中培養検査結果の把握率は85.2%（12,909/15,149），培養陽性中薬剤感受性検査結果の把握率は74.5%（7,645/10,259）であった。

初回治療では多剤耐性（少なくともINHとRFPの両方に耐性のもの），INH耐性（少なくともINHに耐性のもの），RFP耐性（少なくともRFPに耐性のもの）の割合は，それぞれ0.6%，4.1%，0.8%であった。再治療での割合は，それぞれ3.3%，12.7%，3.8%であり，2013年と比較してINH耐性は4.7ポイント増加し，多剤耐性・RFP耐性は減少した。

都道府県・政令指定都市別に，肺結核中培養把握割合と肺結核患者数（図5左），および肺結核培養陽性中感受性検査結果把握割合と肺結核培養陽性患者数（図5右）の散布図を作成した。肺結核中培養把握割合は，肺結核患者数が約500人を上回ると8割以上となり，それ以下の患者数の地域においては割合に大きなばらつきがみられた。肺結核培養陽性中感受性検査結果把握割合は，肺結核培養陽性患者数が250人を下回る地域におけるばらつきが非常に大きかった。ただし，これらの把握率は，

あくまで収集された情報が保健所で入力されて，結核登録者情報システムに報告された割合であり，実際の検査実施率を表したものではないことに注意が必要である。

おわりに

2014年の新規登録結核患者における患者発見および結核診断時の状況について概観した。全体の傾向としては，前年と比較して大きな変化はみられなかった。

高齢者層では医療機関における結核発見は依然として高く，引き続き注意が必要であり，若・中年層では定期健診受診のさらなる強化が必要である。

周囲への結核感染リスクが高いと考えられる有症状喀痰塗抹陽性肺結核患者の「受診の遅れ」は，中年層で高く啓発活動が必要と考えられる。新登録肺結核患者の空洞型割合は，60～64歳において男性で5割弱，他の年齢層においても男女とも3割前後となっていた，周囲への結核感染リスクを減らすため，より一層早期発見に努めていく必要がある。

新登録肺結核患者中培養検査結果と培養陽性中抗結核薬剤感受性検査結果の入力率は例年どおり低い状態が続いている。地域別では患者数の多い地域においては把握率が高い傾向となる一方で，患者数が少ない地域における把握率のばらつきは非常に大きかった。保健所における抗結核薬剤感受性検査結果の入力率を改善する必要がある。

文 献

1) 旧図 新登録肺結核患者中胸部 X線写真での広汎空洞型

割合の推移, 1975~2014年. <http://www.jata.or.jp/rit/ekiga/ku/info/kaisetu/> (上記ページ内の結核年報2014旧図表, 追加表一患者発見・診断時病状にアクセス)

Report and Information

TUBERCULOSIS ANNUAL REPORT 2014

— (3) Case Finding and Condition of Tuberculosis Patients on Diagnosis —

Tuberculosis Surveillance Center (TSC), RIT, JATA

Abstract Tuberculosis (TB) surveillance data from 2014 was reviewed, with respect to modes of detection, symptoms at diagnosis, diagnostic delay, radiographic findings, comorbidity, and drug susceptibility test (DST) results.

Of the 19,615 newly registered TB cases, 82.8% were diagnosed while seeking care for, or during treatment of, other illnesses.

Of the 15,149 patients with pulmonary TB (PTB), 55.9% presented with respiratory symptoms, while 18.0% presented with non-respiratory symptoms, and 25.5% were asymptomatic.

Considerable delay to the initiation of treatment following the appearance of symptoms was observed among the younger symptomatic smear-positive TB patients. Over 35% of patients aged 35–59 years did not seek care for more than 2 months after the initial appearance of symptoms.

The proportion of PTB patients with advanced or far-advanced cavitation peaked at 49.9% among males aged 60–64 years, while it remained constant at around 25% among females in all age groups.

Positive HIV test results were obtained in 0.2% (n=45) of the newly registered TB patients, among which 86.7% were male and 22.2% were foreign-born. In addition, 16.3% of

male and 10.5% of female newly diagnosed patients had diabetes mellitus.

Of the 10,259 culture-positive PTB patients, DST results were available for 74.5% of patients. In previously untreated patients, the proportions of multi-drug resistant TB, any isoniazid resistance, and any rifampicin resistance were 0.6%, 4.1%, and 0.8%, respectively; among previously treated patients, these proportions were 3.3%, 12.7%, and 3.8%, respectively.

Key words : Tuberculosis, Delay to diagnosis, Smear positivity, Cavities, Complications, Anti-tuberculosis drug susceptibility test

Research Institute of Tuberculosis (RIT), Japan Anti-Tuberculosis Association (JATA)

Correspondence to: Kiyohiko Izumi and Kazuhiro Uchimura, Department of Epidemiology and Clinical Research, Research Institute of Tuberculosis (RIT), JATA, 3-1-24, Matsuyama, Kiyose-shi, Tokyo 204-8533 Japan.

(E-mail: tbsur@jata.or.jp)